



物流ニッポン

2009年(平成21年)

2 | 12 (木)

発行/月曜日・木曜日 第3200号

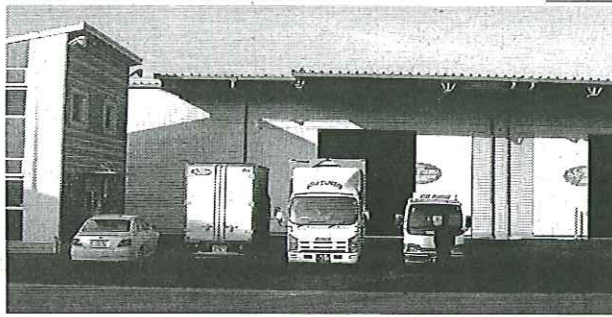
購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2009 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)

共配センター完成

スター急便 コア事業、勝負かける

【江藤和博】スター急便を開始した。業務拡張に「自前の施設を新設。共配便(沢田昌一社長、徳島市)の共同配送センター配センターを引き払い、に位置付け、「勝負をかける」(沢田社長)方針だ。マリンピア



沖洲には共配の対象品目である食品や雑貨、紙製品の荷主が集まっており、将来的に高速道路のインターチェンジが設置されることもあって進出を

24時間稼働のスルー型で、17-18両を配置

決めた。敷地は賃借で、平屋建て倉庫の床面積は千二百五十四平方メートル。木造二階建ての事務所は「美容室をイメージ」して、壁をコンクリートの打ちっ放しにするなどおしゃれな造りにした。事務所の裏手には休憩室と浴室を建設中で、県外から来た取引先の運送会社のドライバーに無料開放する。大型車で県外から運んできた荷物をセンターに送って個人開業し、九四年に法人化。現在は引越しいや貸切輸送も手掛け、保有車は三十両。産業廃棄物の収集・運搬業の許可も取得している。共配の拡充に合わせて、今後だ」と話している。

引先の運送会社のドライバーに無料開放する。大型車で県外から運んできた荷物をセンターに送って個人開業し、九四年に法人化。現在は引越しいや貸切輸送も手掛け、保有車は三十両。産業廃棄物の収集・運搬業の許可も取得している。共配の拡充に合わせて、今後だ」と話している。

引先の運送会社のドライバーに無料開放する。大型車で県外から運んできた荷物をセンターに送って個人開業し、九四年に法人化。現在は引越しいや貸切輸送も手掛け、保有車は三十両。産業廃棄物の収集・運搬業の許可も取得している。共配の拡充に合わせて、今後だ」と話している。